

7月20日：VN指数はまちまち（VN指数 -0.01%）

- 昨日相場を支えた VCB (-1.4%) が下落に転じ、VN 指数は下落して始まった。
- 午前中はその後も徐々に売りが広がる展開となり、下げ幅を拡大した。しかし、大きな下落とまではいかなかった。
- 素材・建設資材セクターを中心として午後に入り買いが見られた。
- 引けにかけて徐々に反発姿勢を強め、最終的には小幅な下落で取引を終えた。
- 騰落別では幅広い銘柄が買われた。252 銘柄が上昇、201 銘柄が下落した。73 銘柄は変わらずだった。
- 警戒感が高まっており流動性は低下、売買代金で 16.4 兆ドンだった。

VN30 指数は上昇（VN30 指数 -0.14%）

- 時価総額・流動性の大きい 30 銘柄で構成する V N 30 指数は、13 銘柄が上昇、13 銘柄が下落、4 銘柄は変わらずだった。
- FPT (+2.3%) と MWG (+1.2%) の二銘柄は午前中から堅調な動きだった。また、HPG (+2.9%)、PDR (+3.5%)、VPB (+1.7%) といった銘柄は午後に入り上昇した。
- 一方、下落した銘柄は MSN (-1.6%)、VCB (-1.4%)、VHM (-1.4%)、TCB (-1.2%) などは下落していた

セクター・個別株の動き

- SBV が林業、水産業向けの低金利の貸出パッケージ（15 兆ドン）を発表したことを受けて、水産加工の ANV (+0.8%)、CMX (+1.9%)、IDI (+1.8%)、VHC (+1.9%) などが上昇した。
- BMP (+1.1%) は新高値を更新、第 2 四半期の純利益は前年同期比 103%増の 2,950 億ドンと発表した。

- 外国人投資家の売りと買いはほぼ拮抗しており、480億ドルの売り越しだった。VNM、HPGが大きく買い越された。一方、上昇したMSBは売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。